

市職員研修に係る各グループの意見について

しりょう
資料2-1

| グループ | 構成 | 種類 | 意見 | 各グループのまとめ | | |
|------|------------------------------|--------------------------|---|--|--|---|
| B | 財政課 会計課 監査事務局 議会事務局 | 意識 | 職員対象のやさしい日本語教室を実施 職員が外国語をマスターする | ・庁舎内のデジタルマップの設置(QRコードで案内) ・多言語対応した議会会議録の作成 ・職員が外国語をすべてマスターする ・他企業の外国人対策について聞く | | |
| | | 言語の違い | 通訳システムの導入 自動翻訳機の導入 | | | |
| | | | 外国籍市民向けに会議録を作成 ホームページに掲載物の多言語化 | | | |
| | | | 地域参画 議員と外国人とのコミュニケーションの場を持つ | | | |
| | | 生活支援 | 予防接種の世界共通化 施設の案内表示に外国語を記載 窓口案内を多言語化 QRコードで案内するデジタルマップ(外国語、庁舎内) 外国籍市民の案内所を設置 | | | |
| | | | 意識 | | お互いの文化を理解する場の創出 | ゴミ出しについて ・ゴミをスマホで写すと、分別を教えてくれる (有効性)業務が軽減される、お互いに困らない |
| | | | | | 交流 自国の文化を紹介できるような場の設置 | |
| | | | | | 言語の違い | |
| | | 教育 日本に来る前に下ごしらえがあるといい | | | | |
| | | 生活支援 | | | 浄化槽の不適切管理がある(トイレ文化) ゴミ出しの案内文書を多言語翻訳 カメラでゴミを写すと可燃、不燃など分別してくれるシステムの構築 宗教に配慮した食事 予防接種の世界共通化 ゴミ処理の世界共通化 | |

市職員研修に係る各グループの意見について

しりょう
資料2-1

| グループ | 構成 | 種類 | 意見 | 各グループのまとめ |
|------|----------------|---|---|--|
| E | 保険医療課 健康課 | 交流 言語の違い 生活支援 | 日本の文化を理解してもらおう 自国の文化を紹介してもらおう 各国の地域性が知りたい(日本人との違いがわかる) 通訳派遣の導入(外国籍市民の方の気持ちに寄り添えるように) 同時翻訳機の導入 市民サービスの多言語対応版パンフレットの発行 転入した際に日本人あるあるや地域のあんなこと、こんなことを伝える 食事に対する宗教的配慮 世界共通の予防接種になるといい 世界各国の共通届出(出生、婚姻)になるといい 外国籍市民に対するこころの相談役 健診票を多言語化する 日本語と外国語が併記されている予防接種の予診票の作成 | ・外国人の生活に関連の深い分野(ごみのこと等)の 情報提供方法の改善(やさしい日本語化、図やイラストの活用) ・外国籍市民の意見を直接聞くことができる場を設ける |
| F | 社会福祉課 高齢介護課 | 意識 言語の違い 就労 地域参画 生活支援 | 多言語に対応できる職員を雇用する 制度の普及・啓発のための多言語対応資料の制作 庁舎入口の案内板を外国語表示にする 庁舎入口のTVKを外国語表示にする 細かいニュアンスも伝えられるよう多言語翻訳・通訳機能 他企業にどうやっているのか聞く(対策) 外国籍市民のコミュニティに積極的に制度の情報提供する 日本人外国人にかかわらず、障害がある人が受けたいサービスを受けやすいようにする メンタルヘルスに課題がある人への理解普及啓発 外国人の方も相談しやすい案内(環境)を作る 通訳できる人を案内する 悩んだときに相談しやすい環境整備、相談場所 外国語専用窓口を作る | 物→表示(デジタル) 人→通訳(話せる人) 窓口→案内所(ブース) |

市職員研修に係る各グループの意見について

しりょう
資料2-1

| グループ | 構成 | 種類 | 意見 | 各グループのまとめ |
|------|-----------------|---------------------------|---------------------------|--|
| G | 社会福祉課 高齢介護課 | 言語の違い | 外国語表示(看板)を作る | <ul style="list-style-type: none"> ・AIを活用する (使用方法を職員が学ぶ) (各課にタブレット配布) ・通訳スタッフを雇用する |
| | | | 表示板外国語表記 | |
| | | | 多言語の手続きマニュアルを作成する | |
| | | | 誰もがサービスについて理解できるパンフレットの作成 | |
| | | | リーフレットの翻訳 | |
| | | | AIの使用方法について職員が学ぶ | |
| | | | AIを利用する | |
| | | | タブレット配布 | |
| | | スマホの翻訳機能を使用する(外国籍市民への貸出用) | | |
| | | 個人に担当者としてついて各手続を一緒に回る | | |
| 生活支援 | 外国語の案内所を作る | | | |
| | 病院のような通訳スタッフの雇用 | | | |
| H | 学校教育課 こども未来課 | 意識 | 多文化共生の課を作る | <ul style="list-style-type: none"> ・翻訳アプリの活用(文書や動画作成) ・通訳の配置 ・多文化共生の課を設置 |
| | | | 職員のスキルを上げる | |
| | | | 職員の海外研修でのスキルアップ | |
| | | 言語の違い | 観光ガイドの作成(多言語対応版) | |
| | | | 説明書の多言語翻訳や動画の作成 | |
| | | | 翻訳アプリを活用して文書を作る | |
| | | | AIを活用する | |
| | | 教育 | 通訳ボランティアを募集 | |
| | | | 通訳の配置 | |
| | | | 通訳ボランティア派遣(保護者に学校の説明) | |
| | | 就労 | サバイバル日本語が学べる場所を設ける | |
| | | | 外国籍職員の雇用 | |
| | | 地域参画 | 採用に外国人枠を設ける | |
| | | | 外国籍市民の意見を聞く | |
| | | | 外国人が市長になれる | |

市職員研修に係る各グループの意見について

しりょう
資料2-1

| グループ | 構成 | 種類 | 意見 | 各グループのまとめ |
|----------------|-----------------------------------|-------|--------------------------|--|
| I | 総務課 文化・スポーツ課 観光・シティプロモーション課 | 交流 | 外国籍の方を対象とした市内の歴史ツアーを開催する | ・スポーツの交流試合で親睦を深める ・観光情報の発信(SNS・外国語) ・多言語対応の翻訳ツールの導入 |
| | | | 文化展に外国籍の方の作品も積極的に出展してもらう | |
| | | | スポーツの交流試合で親睦を深める | |
| | | 言語の違い | 多言語版での観光情報の発信(SNS) | |
| | | | 多言語翻訳版パンフレットの制作 | |
| | | | オンライン申請の多言語化(予約システム) | |
| | | | 多言語対応の翻訳ツールの導入 | |
| | | 教育 | 翻訳ボランティア派遣 | |
| | | | 日本語教室実施団体の支援や情報発信 | |
| | | | 生涯学習講座で外国籍講師を積極的に起用 | |
| | | | 多文化を知る機会になる講座を開催(料理・音楽) | |
| | | | 正社員の試験は外国籍の方でも受験できることを明示 | |
| | | 就労 | 外国籍観光ガイドの採用 | |
| | | | 外国籍の窓口職員を採用 | |
| 外国籍の方の観光協会での勤務 | | | | |
| 職員研修で共生について学ぶ | | | | |
| 地域参画 | 外国人コミュニティを活用して情報交換をする | | | |
| 生活支援 | 情報発信(HPなど)をわかりやすく | | | |
| J | 商工振興・企業誘致課 農林振興課 | 交流 | 食を共にする | ・食を共にする →地域において世話役を育成 ・収穫体験をやる ・日本語または外国語を学ぶ研修をする |
| | | | 収穫体験 | |
| | | 言語の違い | やさしい日本語の活用 | |
| | | | 日本語または外国語を学ぶ研修をする | |
| | | 教育 | 日本語または外国語を学ぶ研修をする | |
| | | 就労 | 補助金を出し、企業が環境改善しやすいようにする | |
| | | 地域参画 | 地域での世話役の育成 | |
| 生活支援 | 案内表示など多言語化する | | | |
| その他 | 農政事業等の制度検討(外国籍市民が入りづらい制度の改正) | | | |

市職員研修に係る各グループの意見について

しりょう
資料2-1

| グループ | 構成 | 種類 | 意見 | 各グループのまとめ |
|------|----------------|-------|---|---|
| K | 建設都市計画課 | 交流 | 子供の頃から外国人と交流を深める | <ul style="list-style-type: none"> ・幼少期からの外国人との交流の機会増 ・外国籍職員の採用 ・翻訳機の設置増 |
| | | 言語の違い | 翻訳アプリ、翻訳機の導入 外国語の説明、資料の作成 | |
| | | 教育 | 外国語学習に補助金を出す | |
| | | 就労 | 外国籍職員の採用 外国文化の勉強会(職員向け) | |
| | | 地域参画 | 間に入ってもらう方(自治会長等)の存在 | |
| | | 生活支援 | 日本のルールを教える(住宅に入る前に) | |
| | | | 外国人が使いやすいような制度に変える(ローカルルールを含めて) 案内文等を多言語化する | |
| L | 上下水道課 教育総務課 | 交流 | 子供の頃から外国籍市民と交流を深める | 翻訳機の導入 |
| | | 言語の違い | 翻訳機の導入 日本語を学べる、日本のルールを学べる場の創出 日本人が簡単な外国語を学べる機会を創出 | |
| | | 就労 | 市も外国籍職員を雇用する | |
| | | | 企業がより外国籍市民のサポートを強化する | |
| | | 生活支援 | 一般的な日本のルールを教える | |
| | | | 支援の必要性に応じて外国籍市民に対する補助金を交付 | |

市職員研修に係る各グループの意見について

しりょう
資料2-1

| グループ | 構成 | 種類 | 意見 | 各グループのまとめ |
|------|-----|-------|-----------------------------|---|
| M | 消防署 | 交流 | 食を共にする | <ul style="list-style-type: none"> ・イベント案内の幅を広げる ・スマホの活用 ・他国との人事交流 |
| | | | 交流する場を設ける | |
| | | | スポーツをする(助っ人外国人) | |
| | | 言語の違い | とにかく言葉の壁をなくす(コミュニケーションが取れる) | |
| | | | 多言語の表記を増やす | |
| | | | 簡単な言葉を学ぶ(研修や食事) | |
| | | | 外国語講座、日本語教室を開催 | |
| | | | 通訳アプリを活用できるタブレットの設置 | |
| | | | 通訳アプリの活用 | |
| | | | AI翻訳を利用する | |
| | | 就労 | 市も外国籍職員を雇用する | |
| | | 生活支援 | 日本のルールを学ぶ | |